

デーリー東北

2018年(平成30年)5月17日(木曜日)(3)

本格的な環境整備が計画される「花小路」
＝16日、八戸市中心街



ワードは…

花小路の環境整備



段差解消や照明設置へ

八戸市三日町と六日町
の中間に位置し、みろく
横丁と交差する「花小
路」の本格的な環境整備
に向け、地権者らによる
協議会が本年度、実施設
計に着手する。2019年度
内に完工予定で、快適な
歩行空間を整備すること
により、中心街の回遊性
向上が期待される。

(4日付1頁)

花小路は複数の地権者が敷地を提供して形成された歩行者用の通路。中心街で最も人が集まるエリアにあり、来街者が自由に通り抜けできるよう、関係者が整備を模索した経緯がある。

市中心市街地活性化協議会

の専門部会として「花小路整備部会」が設置され、16年3月には「花小路周辺地区まちづくり協議会」(岩岡徳衛会長)が発足。花小路は長期間にわたり一部不通の状態が続いていたが、周辺の再開発などに伴って同年9月に開通した。

一方、本格的な整備の必要性を訴える声は根強く、協議会は17年9月に市とまちづくり協定を結んで計画作成に着手。市や第三セクター・まちづくり八戸と連携して取り組み、八戸工業大が基本設計を担った。

具体的な整備内容は本年度に検討するが、自由な通行の妨げとなる段差の解消や照明の設置などを想定している。総事業費は約4200万円で、国と市の補助金を活用。地元負担は約560万円となる見込みだ。(松原一茂)